

第21回日本慢性期医療学会・第3回アジア慢性期医療学会大会長
日本慢性期医療協会常任理事
アジア慢性期医療協会理事
医療法人社団富家会理事長

富家 隆樹



当協会が、療養病床協会として設立したころには気にも止められなかった慢性期医療は、今、日本社会にとって人々の将来を担うものとなっています。それをリードしているのが、まさに日本慢性期医療協会です。

昨年日本慢性期医療協会は設立20年という節目を迎え、会員数が1000施設を越えました。今後もさらに大きく成長していく当協会は、あらたに「日本の医療、慢性期からの再出発」をテーマとし、11月、東京大会を開催いたします。国民のこれからの人生を支えると言っても過言ではない団体として期待をされている私たちは、より、質の高い慢性期医療の構築を目指し、「良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない」の真髄を継承していきたいと考えます。そして、日本の医療の柱となるべく慢性期医療のプロフェッショナルを目指します。

あわせて、今回は、第3回アジア慢性期医療学会の同時開催となります。超高齢化は日本だけでなく、アジア諸国においても深刻な問題として注視されています。国際的な視点からの慢性期医療について認識を深めていくことで、それぞれの国において慢性期医療の質を高めていくことに貢献していけるのではないのでしょうか。

お台場はいまや日本の玄関口となり、情報の発信地でもあります。この地で、日本国内外の医療従事者が集い、あらためて医療の根本を見つめ、その再出発のステージこそ慢性期医療であることを確認しあいましょう。

プログラム

記念講演

金澤 泰子 氏、金澤 翔子 氏

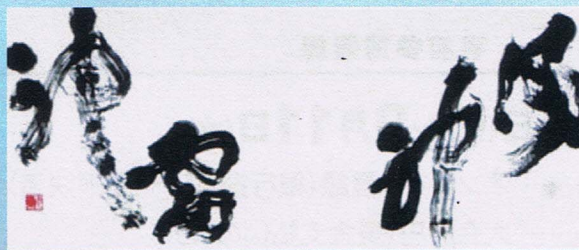
「書道がくれた希望 — 夢をあきらめない」(仮題)

金澤 翔子 氏

1985年、東京生まれ。1990年(5歳)のときより母・泰子に師事し、書道始める。2005年(20歳)に銀座書廊においてダウン症の女流書家として初の個展「翔子 書の世界」を開催。その後、建長寺(鎌倉)、建仁寺(京都)、東大寺(奈良)などで個展を開催。2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字を担当。現在、最も注目を集める若手書家の一人である。

金澤 泰子 氏

金澤翔子の母。1962年、明治大学入学。書道「学書院」の柳田泰雲に師事。1990年、東京・大田区に「久が原書道教室」を開設。1998年、書道「泰書會」に入会、柳田泰山に師事。著書に「愛にはじまる」(ビジネス社)、「天使の正体」「天使がこの世に降り立てば」(共にかまくら春秋社)がある。



事務局 |



日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

TEL:03-3355-3120 FAX:03-3355-31223

E-mail: info@jamcf.jp

運営事務局 |

日本コンベンションサービス株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階

TEL:03-3508-1214 FAX:03-3508-1302

E-mail: jamcf21@convention.co.jp